

排水溝勾配仕上材

ビルモル 溝シベラー

～水で練って流すだけの高品質・一材型の流動性側溝用モルタル材～

〔目 的〕

この施工マニュアルは「ビルモル溝レベラー」の施工に当り「品質の維持」を確保するためのマニュアルです。

〔用途・適用下地〕

「ビルモル溝レベラー」はマンションやビルなどベランダの排水溝を仕上げる既調合モルタルです。

コンクリート・モルタル・PC板等の床下地面・排水溝

〔特 長〕

練混ぜ後、流し込むだけで水勾配が取れ、コテ押えの必要はありません。

〔使用材料〕

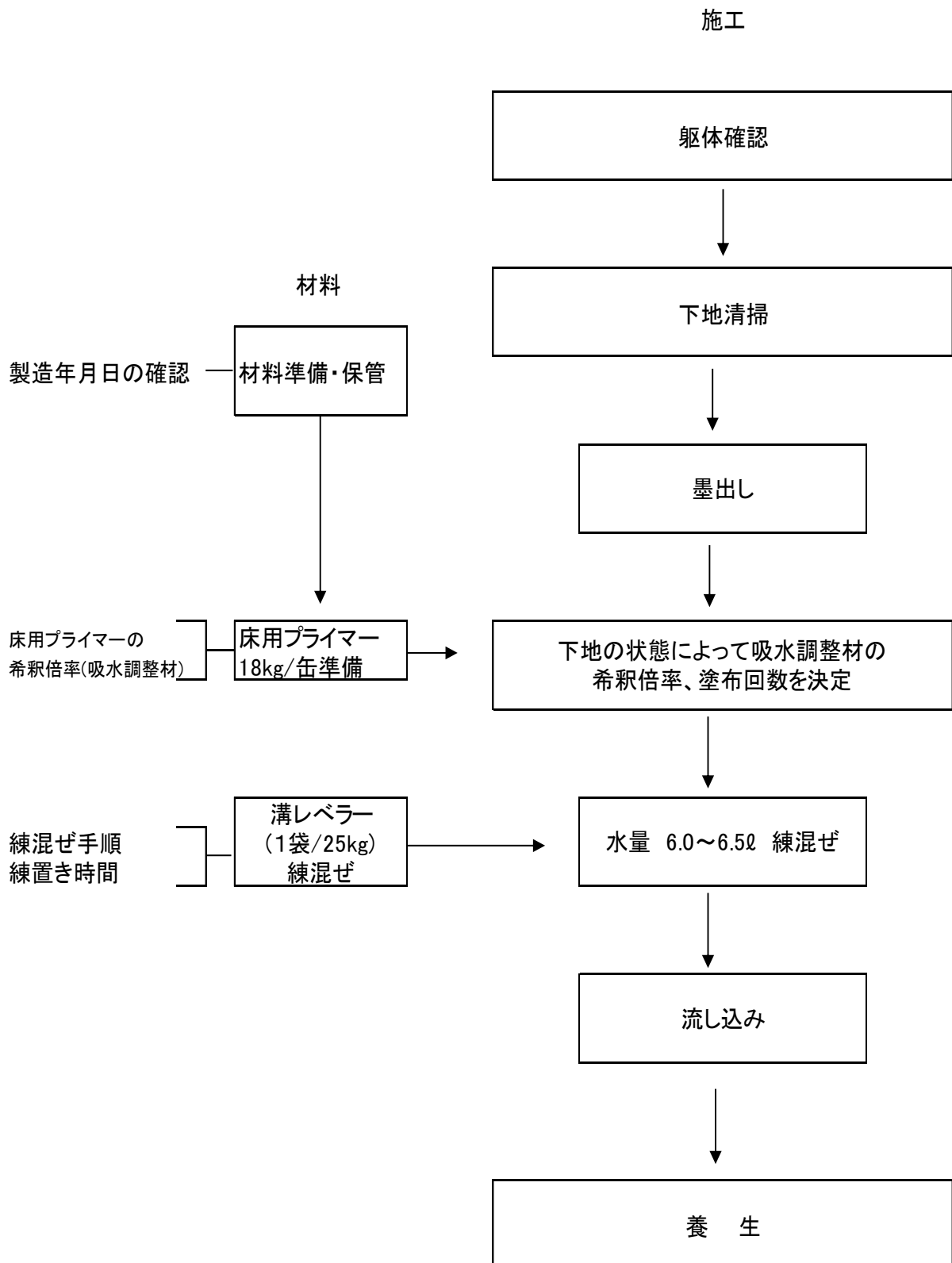
- 「ビルモル溝レベラー」 正味質量 25 kg 防湿紙袋入り

- 「HOUN 床用プライマー」 18kg（ペール缶）
（高性能アクリル系浸透性樹脂）

〔調合・標準施工長さ〕

「ビルモル溝レベラー」 1袋（25kg）	上水道水	約 6.0～6.5ℓ	
標準施工長さ 1袋（25kg）当り （水量 6.25ℓ の場合）	厚さ	幅	長さ
	15mm	10cm	10.4m
		15cm	7.0m
練上がり量	約 16ℓ		

〔施工工程〕



① 躯体確認

- 1) 施工に先立ちコンクリート下地の表面硬化不良、ひび割れ等、「ビルモル溝レベラー」施工に支障が無い点検して下さい。支障の可能性がある場合は弊社に問合せして下さい。
- 2) 施工前に躯体温度が 5℃～35℃の範囲（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば水打ち、シート養生などをして適正な温度にして下さい。
※高温の場合、ドライアウト、クラック、浮き、剥離などの原因となり、低温の場合、接着不良、硬化遅延、剥離、白華などの原因となります。

② 下地清掃

- 1) 下地のレイタンス、脆弱部分はワイヤーブラシやサンダー掛けで除去・清掃して下さい。油分の汚れは清浄等で十分清掃して下さい。
- 2) 材料の流出を防ぐため、排水管等の開口部は適切に漏れ止め処理を行って下さい。
- 3) 躯体温度は 35℃以上にならないよう注意を払ってください。

③ 墨出し

- 1) 仕上げレベルの墨出しをして下さい。
- 2) 施工可能な勾配は 1 m 当り 10 mm 以下として下さい。

④ 吸水調整材の塗布

HOUN 床用プライマーの希釈倍率と塗布回数

下地の状況	1 回目	2 回目	塗布量 (m ² /缶)
金ゴテ押さえ	3 倍液	4 倍液	150～200
木ゴテ押さえ	6 倍液	4 倍液	100～150
※雨打たれ、ドライアウト下地など 吸水が大きい下地	6 倍液	4 倍液	80～100

※吸い込みが激しい場合、数回塗布して下さい。

※一回塗布で施工できる金ゴテ押さえ下地は、防水下地程度の面精度を必要とします。

※一回塗布で施工できる金ゴテ押え下地は、防水下地程度の面精度を必要とします。

※弊社製品以外のセルフレベルング材、補修材との組み合わせ使用、特殊な下地につきましては、弊社にご相談下さい。

⑤ 練混ぜ

- 1) 「ビルモル溝レベラー」1袋(25kg)に対して、標準水量(6~6.5ℓ)で練混ぜして下さい。水量は施工勾配に合わせて調整して下さい。
- 2) 約200程度の丸缶に標準水量の水を入れておき、モルタルハンドミキサーで攪拌しながら「ビルモル溝レベラー」を少しずつ投入し3分以上攪拌して下さい。
- 3) 練混ぜた材料は30分以内で使いきるようにして下さい。

⑥ 流し込み

- 1) 墨に合わせてゆっくり流し込んで下さい。
- 2) 溝の末端(約15cmほど手前)に近くなったら流し込みの量を加減して下さい。
- 3) 流し込む容器は水さしの付いたバケツ又は如雨露等、適切なものを使用して下さい。

⑦ 養生

- 1) 施工終了後、風や直射日光等急激な乾燥を生ずる恐れのある場合はシート養生をして下さい。
特に夏期の屋上施工では、乾燥、ひび割れ、ドライアウト防止の為にシート養生されることを推奨いたします。
- 2) 本品はセメント製品であるため低温・降雨・降雪・水濡れ・結露等により、白華(エフロレッセンス)が発生する場合があります。適切なシート・保温・採暖養生等を行って下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。
2. 練混ぜた材料は 30 分以内に使用して下さい。練足しや加水して練戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が 5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊運



ISO 9001

本 社 〒546-0003
大阪市東住吉区今川 3 丁目 12 番 4 号
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133
URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004

西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

改訂 2019/11 第 9 版